

入率
ラ亡
ジュ死
ン婦
ホ妊

日本に比べて50倍

AMDA 渡辺さんが講演

国際医療救済団体「AMDA」グループのAMDA社会開発機構（北区）は25日、同区奉還町2の国際交流センターで帰国報告会を開いた。中央のホン

ジュラスで母子保健などに携わり、一時帰国中の事業統括、渡辺咲子さん（39）が活動について講演した。

AMDAは98年にホンジュラスのハリケー

ン被災で緊急救援したことを契機に、99年から同機構が中長期の復興支援を開始した。現地に在住する渡辺さんは、看護師の資格を生かして01年から保健ホ

ランティアや助産師の育成などにかかわっている。

講演では、ホンジュラスの08年妊産婦死亡

率は10万人当たり280人で、日本の6人と比べて約50倍に上る現状などを紹介。渡辺さんは「（地理的理由などで）病院へのアクセスが限られ、医療の専門知識を持たない全く普通の人々が伝統的助産師として分娩に立ち会っている」と背景を説明した。

は「胎盤が出るまでへその緒を切ってはいけない」という間違った知識が根付いており、赤ん坊の死の危険性が高まる場合もある。渡辺さんは「彼女らに研修を行い、異常時には早く危険を察知して病院へ搬送するよう指導している」と話した。

【椋田佳代】



ホンジュラスでの助産師育成について語る渡辺さん
—北区奉還町2の国際交流センターで